

## 平成27年度第3回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成27年12月19日(土) 午前10時～12時

2 開催場所 中央図書館2階視聴覚室

3 出席者

(委員) 押樋委員長 埴副委員長 松本委員 菊地委員 杉村委員  
服部委員 須賀委員 西村委員 大野委員 水田委員  
(事務局) 斎藤館長 長田副館長 白沢係長 森田係長 三輪副主査

4 議題

(1) 報告事項

- ①平成27年度利用統計及び事業報告について(9月から11月)
- ②決算委員会について
- ③図書館サービス拡充事業について
- ④「浦安震災アーカイブ」について
- ⑤その他  
    Uモニアンケートについて  
    図書館講演会について

5 議事の概要

- ①平成27年度利用統計及び事業報告(9月から11月)について、事務局より報告を行った。
- ②決算委員会について、事務局より報告を行った。
- ③図書館サービス拡充事業について、事務局より報告を行った。
- ④「浦安震災アーカイブ」について、事務局より報告を行った。
- ⑤Uモニアンケートについて、事務局より報告を行った。  
    図書館講演会について、事務局より案内を行った。

6 会議経過

- ①平成27年度利用統計及び事業報告(9月から11月)について、事務局より報告を行った。  
    その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(質問) 貸出数にあるマーレ図書サービスコーナーは、インターネット予約の貸出か。他の館の統計の数字とはダブっていないか。

(回答) 予約した資料の受け取りである。受取館での貸出数なので、他と重複

はしていない。

(質問) 浦安市で、インターネットが使える人の割合はわかるのか。そういうスキルのある人ばかりが駆使できるのもどうか。

(意見) 予約については、電話でもできると聞いている。

(回答) 電話でも予約は可能である。ネット予約や駅前のサービスコーナーは、便利に使っていただいているが、やはり図書館に来てもらえる魅力的な場所作りをしていきたい。ネットを使えない方に対しても考慮していきたい。

(意見) 図書館に来てもらうという意味では、本の見せ方の工夫が大切ではないかと思う。

(意見) 背表紙を見せることができるのは、書店と図書館だけである。本があるところでしかできないサービスに取り組んでほしい。

(意見) 個人的には、図書館の匂いが大好きで、いるだけで嬉しくなる。

(意見) 本が好きな人には当然だが、本が好きではない人にも来てもらう工夫が、これからは必要となる。

(意見) そういう意味では、改修後の堀江分館は非常に効果を上げている。入っただけで今までと違う印象がある。建物が新しくなり、インパクトのある時はチャンスである。次の富岡分館にも大いに期待したい。

(質問) 類縁サービスや貸出数が減少している理由はなにか。

(回答) 類縁サービスについては、学校や幼稚園・保育園から要請をいただいて派遣しているものだが、図書館内での事業の関係等で、全てに対応できるわけではないため、派遣回数を調整している。

また、貸出数については、震災以降続いている傾向で、浦安市だけに限らず全国的な現象でもある。震災後の人口減少も影響しているが、他にもスマホの普及などの影響も考えられる。引き続き、分析をしていきたい。

②決算委員会について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は特になし。

③図書館サービス拡充事業について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(質問) 利用者数は来館者数とは違うのか。

(回答) 利用者数は貸出をした方の数である。来館者数は、中央図書館のみブックディテクション装置による集計が可能である。

(質問) 中央図書館では、来館者のうち貸出利用をする割合はどのくらいか。

(回答) 概ね半数程度である。

(意見) 貸出数はあまり意味がないのではないかと。来館して、借りない人もいるが、来館自体が刺激になっていることもある。違う視点での分析はできないか。

(質問) レファレンスの利用は伸びているのか。

(回答) 全体としては伸びているが、拡充サービスの時間帯では受け付けていないので、今回の報告には入っていない。

入館者の動向についても、そのための調査を行わないと現状では詳しいことはわからない。

(意見) 貸出数に関しては、浦安の図書館は十分に高い数字を出している。それよりも、拡充事業は予算をかけているものなのだから、コストパフォーマンスの分析を行ってほしい。コストに見合う利用がなければやめるという選択肢もあるのではないかと。

(回答) 費用対効果については、今後分析を行っていく。

③「浦安震災アーカイブ」について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(意見) 記録の保存という意味で、アーカイブ化の事業の重要性はわかるが、実際に起こった時に、どんな行動をし、どう避難すればいいかということがわかるものになっていけばいいと思う。

(意見) 市民へのPRを中心に行っているようであるが、この震災アーカイブは世界のどこにもない資料なので、浦安市内だけではなく全国へ向けてのPRも考えていってほしい。

(回答) 11月には「図書館総合展」というイベントに参加した。また、千葉県公共図書館協会誌「らいぶらりあん」やWeb雑誌「月刊IM（アイエム）」への記事掲載も予定している。1月には国立国会図書館の「東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム」に参加する予定である。

(回答) 市の内外へ向けて、よりよく使っていただくためのPRを進めていきたい。現在はコンテンツの収集が中心だが、何をどのように伝えていくか、ということが今後の課題となる。

④Uモニアンケートについて、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(質問) アンケートの回答者の地域構成はわかるのか。

(回答) 後程確認しておく。

(意見) 母数が300程度であることや、登録モニターによるインターネットでの回答ということで対象者に偏りがあることを考えると、この数字

をどう評価するのは難しい。図書館が好評価なのは良いことである。

その他

図書館の運営について、委員より次のような意見（質問）が出された。

（質問）ヤングアダルトコーナーは、浦安の図書館にはないのか。

（回答）主に10代の利用者を対象としたサービスのことであるが、浦安では特にその名称では行っていない。児童室の奥に特設コーナーを設けているが、この世代の子は読む本の幅が広いとため、児童担当者と大人の文学部門の担当者で連携をとって、展示等を行っている。また、夏休み前にジュニア向け図書リストの作成も行っている。引き続き働きかけは行っていきたいと考えている。

（質問）募金を行っている図書館があるが、浦安では行わないのか。

（回答）現在、図書館では行っていない。

（意見）図書館の財源として寄付を募ってもいいのではないか。

（意見）寄付の取り扱いは、会計処理やそれに関する事務が非常に雑多で、事務量が多過ぎる。本来の業務を圧迫する可能性もある。

（意見）方法としては、図書館が直接集めるのではなく、友の会等が募金して、物で寄付する方法もある。

（意見）自治体によっても違うかもしれないが、できる方法を検討することが必要ではないか。

2月実施の図書館講演会について、事務局より案内を行った。

意見（質問）は特になし

7 傍聴者 1名